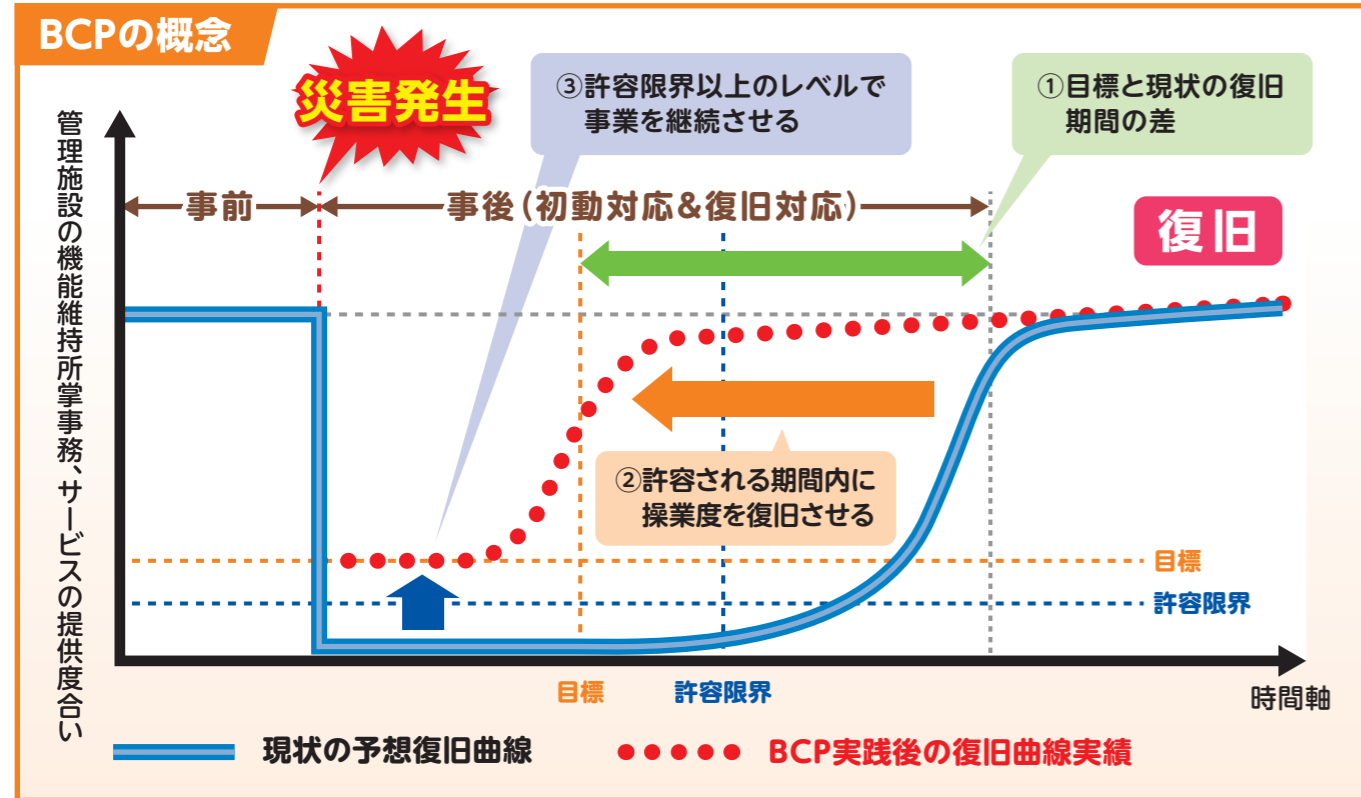


企業等の水害対策の現状

参考:「業務継続計画(BCP)」(関東地方整備局) (https://www.ktr.mlit.go.jp/bousai/bousai0000161.html)を加工して作成

BCP (Business Continuity Plan)とは?

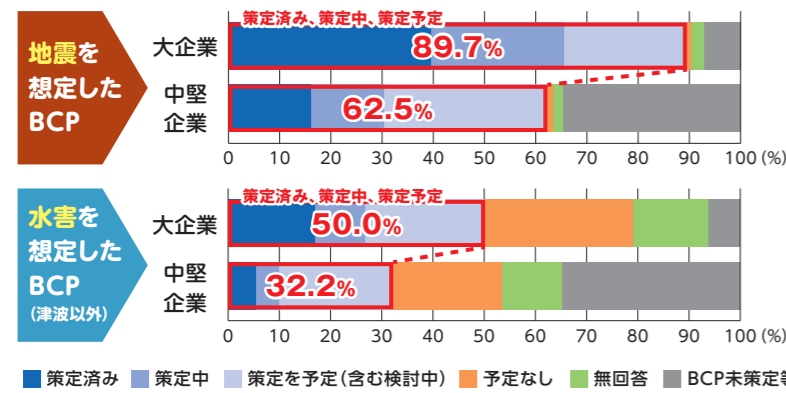
BCPは業務継続計画とも呼ばれ、企業が災害や事故で被害を受けた場合でも中核となる事業の継続や早期復旧ができるよう、平常時に行うべき活動や継続のための方法・手段を取り決めるといった計画を指しています。



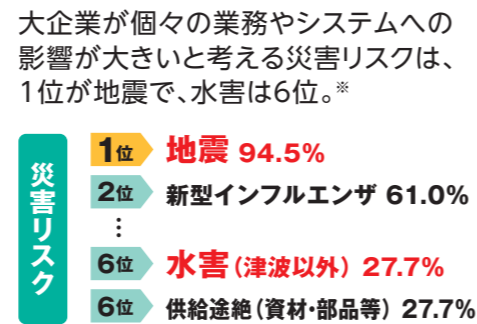
参考:「浸水被害防止に向けた取組事例集～社会経済被害の最小化の実現に向けて～」(国土交通省) (https://www.mlit.go.jp/river/bousai/shinsuihigai/pdf/171225_zentai_lo.pdf)を加工して作成

企業におけるBCP策定状況(地震・水害)

地震を想定したBCPと比較して、水害を想定したBCPの策定は進んでいない



地震と比較して、水害への関心は低い



回答対象:BCPを「実施している」もしくは「実施を検討中」の企業(大企業の51.4%)
*内閣府の調査におけるビジネスインパクト分析(複数回答)についての回答

レンタルのニッケン

ホームページでも最新情報をお届けしています。是非ご覧ください。

レンタルのニッケン 検索

安全ニュースのご活用についてのお願い

弊社は皆様の安全作業に関するよりよい情報をご提供するため、安全ニュースの製作・配布に取り組んでおります。下記、ご理解いただき、ご活用いただけますようお願い致します。

- 安全ニュースの一部または全部において、個人・法人を問わず、弊社および引用先(各種団体など)の許諾を得ずに、いかなる方法においても、営利目的にて、無断で販売・複製・貸付・加工・加筆および、公衆送信(インターネットやそれに類した送信)などを利用して提供することを禁じております。
- 弊社は、本紙の内容において如何なる保証も行いません。
- 本紙内容にて発生した障害および事故についても、弊社は一切責任を負いません。

レンタルのニッケン 公式 情報発信中!

フォロー宜しくお願います!

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



レンタルのニッケン

お客様の安全作業のために。

安全ニュース

Safety news

2025年

5月号

No.281

編集・発行

株式会社レンタルのニッケン 安全部/営業支援部

お問い合わせ

TEL.03-6775-7811

目次

特集 水防月間

- 顕著な災害を起こした自然現象(水害)
- 使おう!キキクル
- 甚大な被害をもたらす「線状降水帯」とは
- 企業等の水害対策の現状

2025年6月号の予告

全国安全週間

顕著な災害を起こした自然現象(水害)

※参考:「災害情報一覧」(総務省消防庁) (https://www.fdma.go.jp/disaster/info/) [災害をもたらした気象事例(平成元年～本年)](気象庁) (https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/index_1989.html) [水害レポート2023](国土交通省) (https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/pdf/suigai2023.pdf) [能登半島の地震・大雨による被害とこれまでの対応](国土交通省) (https://www.mlit.go.jp/river/shingikai_blog/kentoukai/oto_kentoukai/dai01ka/pdf/04_shiryu04.pdf)を加工して作成

9月中に発生した災害
9月以外に発生した災害

※地図は被害が大きかったと思われる地域を示しており、数値は全国の合計になります。

令和5年6月 令和5年6月29日からの大雨



梅雨前線の活動や上空の寒気の影響で大雨となり大分県日田市、佐賀県鳥栖市、福岡県添田町では総降水量1200ミリを超えた。

令和6年9月 令和6年奥能登豪雨

死傷者 64人
住家全壊 106棟
床上浸水 51棟

9月21日から22日にかけて、日本海の低気圧や前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定になり石川県能登では記録的な大雨となった。

令和5年9月 台風第13号

死傷者 24人
住家全・半壊 1,797棟
床上浸水 794棟

1時間降水量が観測史上1位の値を更新した地点があり、総降水量が400ミリを超えた地点や平年の9月の月降水量を超えた地点もあった。

令和4年9月 台風第15号

死傷者 9人
住家全・半壊 1,808棟
床上浸水 5,200棟

特に静岡県では猛烈な雨が降り続き、記録的短時間大雨情報を多数発表した。複数の地点で24時間降水量が400ミリを超えて平年の9月の1か月降水量を上回り、観測史上1位の値を更新した。

令和4年9月 台風第14号

死傷者 166人
住家全・半壊 168棟
床上浸水 664棟

発達した雨雲が長い時間かかり続けたことにより大雨となり、総降水量は複数の地点で9月の1か月の平年値の2倍前後となった。

令和3年8月 前線による大雨



九州北部地方で線状降水帯が発生し、24時間降水量が多いところで400ミリを超える大雨となった。

災害の発生時期

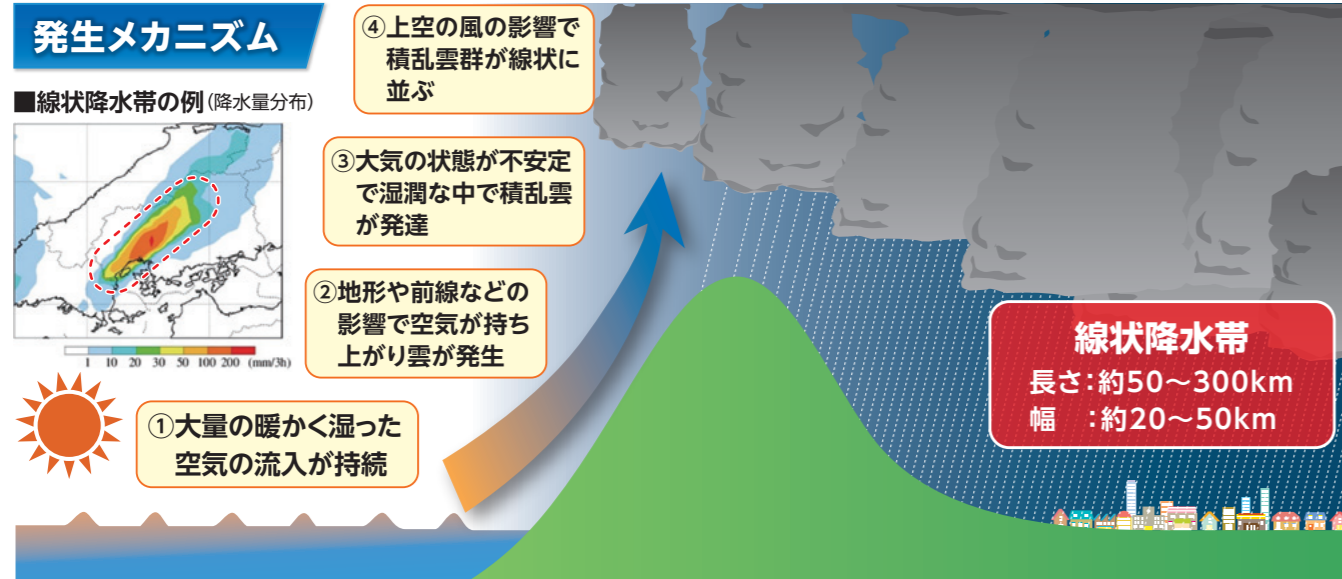
| | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----------------------|----|-----------|---------|---------|
| 令和3年8月 前線による大雨 | | | 8/11~19 | |
| 令和4年9月 台風第14号 | | | 9/17~20 | |
| 令和4年9月 台風第15号 | | | 9/22~24 | |
| 令和5年6月 令和5年6月29日からの大雨 | | 6/28~7/16 | | |
| 令和5年9月 台風第13号 | | | | 9/7~9 |
| 令和6年9月 令和6年奥能登豪雨 | | | | 9/21~22 |

★ ホームページにも掲載しております!是非ご覧ください。★

甚大な災害をもたらす「線状降水帯」とは

参考:[線状降水帯に関する各種情報](国土交通省 気象庁) (https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/bosai/kishojoho_senjokousuitai.html) を加工して作成

次々と発生する発達した雨雲が列をなした積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過・停滞することで作り出される、線状に伸びる強い降水をともなう雨域を線状降水帯といいます。毎年のように線状降水帯による顕著な大雨が発生し、数多くの甚大な災害が生じています。



参考:[キキクル(警報の危険度分布)](国土交通省 気象庁) (https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/bosai/riskmap.html) を加工して作成

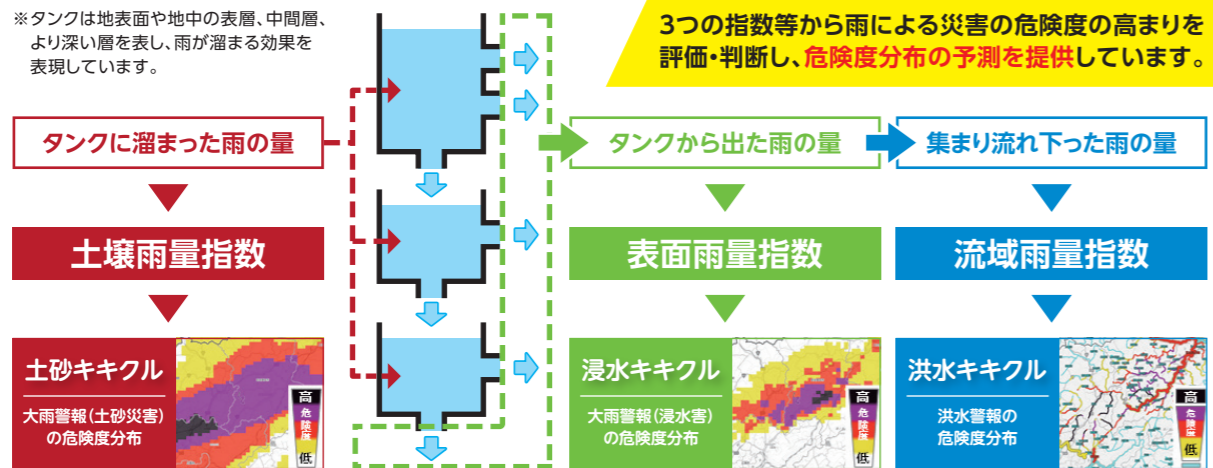
災害発生の危険度の高まりを評価する技術

雨によって災害のリスクが高まるメカニズムは、以下の3つと考えられています。



3つのメカニズムを「タンクモデル」で災害リスクの高まりを指数化し、警報等の基準への到達状況により色分け表示。

※タンクは地表面や地中の表層、中間層、より深い層を表し、雨が溜まる効果を表現しています。



使おう!キキクル

参考:[キキクル(警報の危険度分布)](国土交通省 気象庁) (https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/bosai/riskmap.html) を加工して作成

気象庁では、警報・注意報発表時に実際にどこで「指数」の予測値が警報・注意報の基準に到達すると予想されているのかが一目で分かる「キキクル(危険度分布)」を提供しており、土砂災害、浸水害、洪水災害の危険度の高まりを面的に確認することができます。

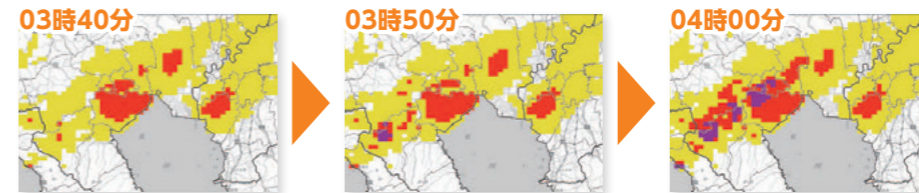
参考:[使おう!キキクル](佐賀地方気象台) (https://www.jma-net.go.jp/saga/shosai/hukyu_keihatu/kikikuru/let_us_use_kikikuru.pdf) を加工して作成

キキクルとは?

雨による災害の危険度を地図上にリアルタイム表示!!

雨による災害の危険度が10分ごとに更新されます

※常に最新の情報を確認してください。



詳しい内容は下記QRコードよりご確認頂けます。



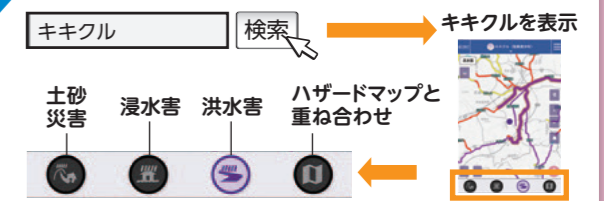
リンク先/[使おう!キキクル特設ページ](佐賀地方気象台)

どんなときに使う?

- ・大雨警報や洪水警報などが発表されたとき
- ・強い雨が降ってきたとき

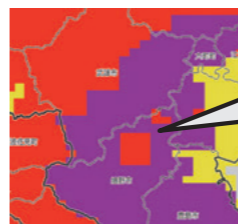
キキクルにアクセスするには?

- ・インターネット検索から



色を確認して早めの行動を

- 黒: 命の危険! 逃げ遅れた人は今すぐ2階以上へ
- 紫: 危ないよ! 急いで安全な場所へ避難
- 赤: 用心して! お年寄りなどは早めに避難

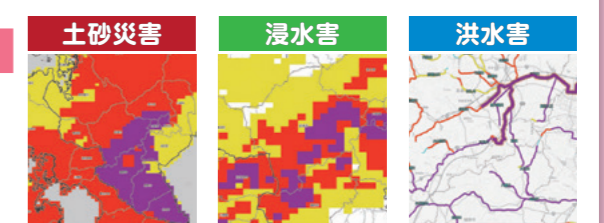


黒を待つと逃げ遅れるになるので、紫までに安全な場所へ!

※キキクルに関わらず、自治体から避難指示等が発令された場合には速やかに避難行動をとってください。

身の周りに危険がさまっていないか確認

- ・自分や家族がいる場所を確認



※河川の水位も「川の防災情報」で確認してください。